

子ども発達学科教授 古川 美枝子

1. 研究活動

音楽的表現力の育成	2013. 5	「日本保育学会」第66回大会 中村学園大学・中村学園大学短期大学	音楽性豊かな表現力を持つ保育・教育者が子ども達に提供する音楽は、子ども達の音楽的資質や表現力の成長に大きな影響をあたえる。保育指針や幼稚園教育要領では音楽表現をすることと、表現をするための豊かな感性・感受性を養うことを述べている。これらを提供できる保育者の音楽的な資質を高める方法について述べた。
子ども神楽・子ども歌舞伎	継続中		子ども神楽・子ども歌舞伎は地域の神社の祭礼の中で上演されることが多い。次世代育成の方針がある中で、日本の伝統文化の神楽・歌舞伎がどのように子どもたちに伝承されていくのかを考察する。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等		g その他教育活動上特筆すべき事項
授業科目 ピアノ実習Ⅰ		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
「ピアノ実習Ⅰ」の授業において、大学に入学して初めて学習する学生の教材を用意する。特に左手の和音や分散和音での指使いの定着が、右手をスムーズに使うために必要と考えられる。また、子どもの歌を指使いの段階練習にする。そのための学習教材を作成し指導した。	主要三和音（C: G: F:）の音構成と指使い一覧表の作成。子どもの歌（例ちようちよう）の楽曲を片手・両手ユニゾン・和音伴奏・分散和音伴奏と段階的に楽譜教材を5曲作成した。	

授業科目 音楽	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
「音楽」の授業において、音楽理論の授業内容の中で、学習した内容を表現する方法とした。①リズムと拍子②調性③総合的な領域で行った。	①リズムと拍子においては身体表現（ボディーパーカッション）に結びつける資料を作成した。 ②調性においては転調によって表現する資料を作成した。 ③総合では旋律と和音の楽譜を書き、オルゴールの台紙を作り表現する資料を作成した。
授業科目 ゼミナールⅡ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
今年度の授業では、イベントの企画運営として、子どもへの遊びの提供として、大学祭での「巨大双六」をテーマとし、実施した。双六の進行内容に手遊びやクイズを挿入し子どもが興味深く参加できる内容考えた。	「巨大双六」の遊びを実施するために、双六の進行内容に手遊び・質問と回答等の資料を作成した。

3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
日本保育学会	現在	
日本音楽療法学会会員	現在	
北名古屋市立母子通園施設ひまわり園（療育保育）	2013. 4～2014. 3	「ひまわり園で療育保育の一環として」「音楽療育プログラム」を保育士と共に実施した。母子療育では、年間12回、子ども単独療育では年間2回行った。
春日井市子育て支援講座講師	2014. 2. 13	春日井市が実施する子育て支援事業で開催した講座で、未就園児の親子を対象に、「親子のリズム遊び」をテーマにした実践活動を行い、子育ての楽しみ方を紹介した。